

H24 シカ年度 知床岬におけるエゾシカ捕獲事業実施結果

知床岬地区における銃器を使用したエゾシカ密度操作は、H19（2007）シカ年度より開始され、今年度で 6 シーズンとなった（表 1-4-1, 2）。当地区では、平成 23 年秋にシカを効率的に捕獲するための仕切柵が完成し、H23 シカ年度は過去最大の捕獲頭数を記録した。H24 シカ年度は仕切り柵を利用した捕獲の 2 シーズン目となり、流氷期にヘリコプターを使用した日帰り捕獲を 1 回、流氷明けに船舶を使用した日帰り捕獲を 1 回の計 2 回実施した。

<実施結果>

- ・①ヘリコプターによる日帰り捕獲（2/26）では 14 名の射手で 13 頭（うちメス成獣 3 頭）捕獲。
- ・②船舶による日帰り捕獲では 14 名の射手で 19 頭（うちメス成獣 1 頭）捕獲。
- ・航空カウント（2/20）での確認個体数は 56 頭。ヘリ捕獲（2/26）後から船舶捕獲（4/16）前の間に仕切柵外に流出したと推測される頭数は、17 頭（ヘリ捕獲後の推定生息数 43 頭（56 頭 - 13 頭）の 39.5%）であった。
- ・H24 シカ年度の捕獲数は合計 32 頭（うちメス成獣 4 頭）となった。過去 5 シーズンと比較してメス成獣の比率が低下した。
- ・H24 シカ年度は H23 シカ年度とほぼ同規模の捕獲作業を実施したが、捕獲数は大幅に減少。H23 シカ年度の捕獲の効果で生息数が顕著に低下したことが理由と考えられる。
- ・6 シーズンで計 717 頭（うちメス成獣 408 頭）を捕獲。動員射手はのべ 697 人日。
- ・H24 シカ年度の捕獲終了時点での仕切柵内生息数は推定 24 頭（56 頭 - 32 頭）。

表 1-4-1. 知床岬におけるエゾシカ捕獲結果（H19～24 シカ年度）

シカ年度	捕獲頭数	捕獲個体の内訳					巻狩回数	のべ動員射手
		メス成獣	メス0歳	オス成獣	オス0歳	不明		
H19(1年目)	132	89	10	18	15	0	27	203
H20(2年目)	122	76	7	26	13	0	17	174
H21(3年目)	158	86	9	47	12	4	8	143
H22(4年目)	57	20	4	30	3	0	3	96
H23(5年目)	216	133	18	53	11	1	3	53
H24(6年目)	32	4	1	26	1	0	3	28
総計	717	408	49	200	55	5	61	697

※成獣は下顎切歯により、1 歳以上と簡易判定された個体を表す。

表 1-4-2. 知床岬におけるエゾシカ捕獲作業実施状況（平成 19～24 シカ年度）

シカ年度	実施時期	捕獲頭数	回収個体数	参加者数 ^{※1}			捕獲実施日数
				射手	補助員	その他	
H19	流水前	33	22	90	5	26	3
	流水後	99	44	113	59	24	12
1年目合計		132	66	203	64	50	15
H20	流水前	50	10	58	19	2	3
	流水後	72	30	116	45	1	6
2年目合計		122	40	174	64	3	9
H21	流水前	57	-	21	6	3	1
	流水中	86	-	85	15	5	4
	流水後	15	55	37	20	1	3
3年目合計		158	55	143	41	9	8
H22	流水中	57	-	90	15	5	4
	流水後	0	10	6	3	1	1
4年度合計		57	10	96	18	6	5
H23	流水中	131	-	14	-	-	1
	流水後	85	112	39	13	-	2
5年目合計		216	112	53	13	0	3
H24	流水中	13	-	14	-	-	1
	流水後	19	14	14	9	-	1
6年目合計		32	14	28	9	0	2
総計		717	297	697	209	68	42

※1 射手は銃を持って参加した人員、補助員は銃を持たず捕獲に参加した人員を表す。ただし回収実施日には知床財団職員は回収に専念したため補助員とする。その他は番屋管理や視察等で同行した人員を表す。

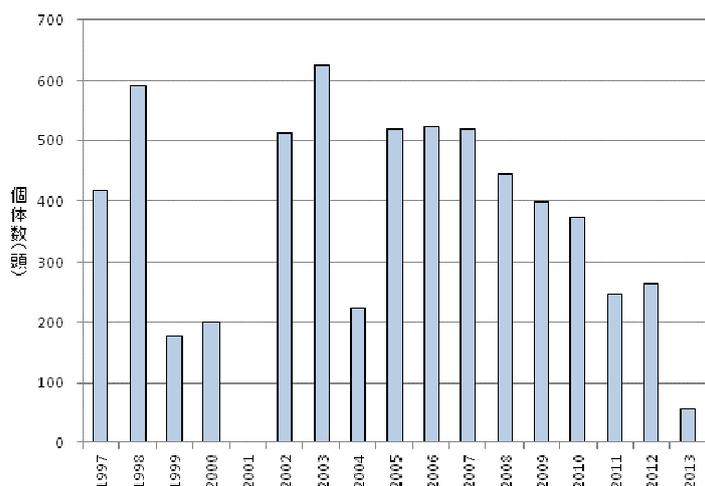


図 1-4-1. 航空カウント調査による知床岬地区のエゾシカ確認数（各年とも捕獲実施前）の推移

※平成 13（2001）年は調査なし